

# 東北地域の自動車関連産業の集積への本県の対応について

12月議会において、世界同時金融不安の影響下、各社の計画に変更があるのではと質問がなされましたが、現時点では大幅な変更はないとの県当局の答弁です。

## ③ 関東自動車工業岩手工場

内容：岩手工場に溶接、塗装、組立のラインを増設  
時期：2005年11月第2ライン竣工  
生産能力：約30万台/年程度  
場所：岩手県金ヶ崎町 約96ha  
投資額：約180億円  
新規雇用：約500人

## ① セントラル自動車

内容：本社及び本社工場の移転、完成車を生産  
時期：2010年移転予定  
生産能力：12万台/年程度  
場所：宮城県大衡村 約40ha  
投資額：約500億円  
新規雇用：予定人数は不明  
現在の1,200人体制を維持する見通し

## ② デンソー

内容：カーエアコン等を生産する新会社を設立  
時期：2010年1月から生産開始  
場所：福島県田村市 約23.7ha  
投資額：約160億円  
新規雇用：約400人

## 山形県議会・宮城県議会 交流議員連盟

8月25日に山形・宮城交流議員連盟の調査研究事業の一環として、関東自動車株式会社岩手工場の視察を行いました。同工場は、平成5年11月に設立され、従業員約1,250人、トヨタブランド車の生産をしており、2007年には約36万台を生産しました。

最近、東北地方には、自動車関連企業を中心に大規模工場立地の動きが相次いでおり、東北地方の産業活性化に向け、自動車産業は今大変期待されています。



## ④ トヨタ自動車東北

内容：小型乗用車向けエンジン工場を新設  
時期：2010年末稼働予定  
生産能力：約40万基/年程度  
場所：宮城県大和町  
投資額：約500億円  
新規雇用：約500人

## ⑤ パナソニックEVエネルギー

内容：ハイブリッド車などに搭載するニッケル水素電池の工場を新設  
時期：2010年稼働予定  
生産能力：約20万台/年程度  
場所：宮城県大和町 約25ha  
投資額：約300億円  
新規雇用：約300人

出展：各企業HP情報、新聞報道等

## ① 県内企業の取引拡大

- トップセールス等による進出企業との協力関係の構築
- 地元調達率向上に向けた協力
- 部品供給に向けた取引あせ
- 県内企業の提案力強化
- 役員・調達担当者等による県内企業調査の実施協力

## ② 自動車関連企業の県内への誘致

- 自動車部品メーカー（1次サプライヤー、2次サプライヤー等）をターゲットとした企業誘致活動
- インダストリアルセミナーの開催（東京・名古屋）
- 山形県企業立地ワンストップサポートセンターの開設（H20.4～）
- 山形県名古屋事務所の体制強化（1名増員 H20.4～）
- 企業立地促進補助金の拡充（補助上限額3億円→10億円 H20.4～）

## ③ 広域物流活性化

- 自動車産業物流活性化戦略（仮称）の策定（H20年内）
- 自動車関連産業の振興による県内・県際物流の活性化
- 対岸貿易振興と利便性向上による酒田港の利用拡大
- 物流活性化を支えるインフラの計画的整備（国道47号線改築・陸羽東西線の利活用等）



## 議会活動

県議会定例会は六月、九月、十二月、二月の年四回開催されます。さらに定例会の間に一回ずつ、年四回の閉会中の委員会、二回の総合支庁単位の地域議員協議会、二回に分けての所属委員会での県内視察および一回の県外視察が主な県議会の公的活動となります。他に自主的による県内県外を問わずの政務調査活動があり、議員としての真価が問われるところです。

また、今回は時流を睨み八月に宮城県議会との合同による自動車産業視察、十一月には全国都道府県議員研究交流大会等に参加いたしました。

とりわけ私が所属しております商工労働観光常任委員会はその守備範囲が広く、かなりのハードワークです。一例をあげますと金融対策等も含まれ、中小企業対策としての経営安定資金が、二十年度二〇〇億円の融資枠が確保されております。今回の報告ではその一端を県民の皆様にご理解していただけるよう工夫してみました。どうか皆様におかれましては是非、感想、ご意見などお寄せ願えればと思います。



**伊藤重成県議会報告 Vol.8** レポート

■発行者／伊藤重成  
■連絡先／〒999-4605 山形県最上郡舟形町長沢306 伊藤重成事務所  
TEL.0233-33-2755/FAX.0233-33-2756  
■メール／kengi-ito@estate.ocn.ne.jp

ホームページもご覧ください! <http://shigenari.us/>

# 特集 視察報告

商工労働観光常任委員会

## 新技術産業 有機エレクトロニクス研究所 米沢市

有機エレクトロニクス研究所は、県の有機エレクトロニクスパレー構想に基づき、平成15年11月に山形大学大学院理工学研究科の城戸教授を所長に開設されました。有機ELパネルの実用化技術の開発に取組み、有機白色照明の実現を目指しています。

5月28日には、照明用有機ELパネルの合弁会社が設立されるなど有機ELパネル商品化に向けた取組みが進められています。



▲白色パネルの下で ↑城戸教授

## 酒井ワイナリー 南陽市

酒井ワイナリーは東北でも最も古い歴史を持つ家族経営のワイナリーで、無ろ過、無清澄、無殺菌

の昔ながらの製法を大切にしています。平成19年度には「パーダップ熟成スペシャルブレンド2005」が加工食品分野で山形セレクションに認定されました。



## 伝統産業 野々花染工房 米沢市

創業は1858年で、天然染料による染色、手織物に取り組んでいます。平成18年、平成19年には地場産業型工業分野で山形セレクションに認定されました。

